

## ■「わらしべ長者」の経済学

▼一三七頁▲

**発問** 「この点」(一三七・10)とは、どのような点か。**思**

**答** 少ない元手で楽をして大もうけする点。

**補充** 筆者が「経済学者としては、『わらしべ長者』

が勞せず大もうけの意味に解釈されるのは大変残念なことだ」(一三七・12)と言うのはなぜか。**思**

**答** 「わらしべ長者」には、交換による経済学的価値の創造という経済の基本が美しく表現されており、経済学の視点で見ると非常に興味深い話であるから。

▼一三八頁▲

**補充** 「交換による経済学的価値の創造」(一三八・

3)とは、どういうことか。**思**

**答** 自発的な取引によって経済学的な利益が生まれ、さらに取引に参加したすべての人たちは利益を受け取ることができるということ。

**補充** 「自発的な双方の合意」(一三八・8)の前提

となるのは、どのようなことか。**思**

**答** 交換に応じる双方にとって、交換前よりも交換後の状態の方が好ましいものであるということ。

**補充** 「その差」(一三八・12)とは何か。**思**

**答** 交換前の状態と交換後の状態の差。

**補充** 「断ろうと思えば断れる」(一三八・14)とは、

どういうことか。**思**

**答** 交換によって自分の目的にかなった利益を得られることが見込めなければ、交換に合意しなくてもかまわないということ。

▼一三九頁▲

**脚問** 「この原則」(一三九・1)とは、どのような原則か。**思**

**答** 自発的交換による経済学的価値創造の原則。

**発問** 「子供にとっては」(一三九・4)で始まる形

式段落は何の具体例か。本文中から十五字で抜き出せ。**思**

**答** ほかの人も利を得ていること(一三九・2)

**脚問** 「特定の取引に貨幣が媒介するかどうかとい

うこと自体は問題ではない」(一三九・13)のはなぜか。**思**

**答** 物々交換であっても金銭が仲立ちする交換であっても(その交換が自発的で交換前よりも交換後の状態の方が好ましいものになるという)経済学的な価値創造の原則に変わりはないから。

**補充** 「特定の取引に貨幣が媒介するかどうかとい

うこと自体は問題ではない」(一三九・13)とは、どういうことか。それを説明した次の文の空欄に適当な語句を入れよ。**思**

直接的な物々交換から「 1 」を仲立ちとする交換になったとしても、その交換が「 2 」であり、交換後に「 3 」

という点では同じであるということ。

**答** 1 貨幣

2 自発的

3 価値が創造されている

**発問** 「より本質的なのは、専門用語で言う『市場の

非完備性』ということである」(一三九・15)とは、どういうことか。次の空欄A・Bに適当な言葉を入れて答えよ。**思**

わらしべ長者の取引において本質的な問題は (A) という点になく、(B) という点にある。

**答** A：貨幣が媒介するかどうか

B：登場する人々がそろって共通に取引できる場が備わっていない

▼一四〇頁▲

**発問** 「わらしべを持った男が屋敷を手にする」(一四〇・3)には、どのような条件が必要か。思

**答** 登場する人々が直接に取引できる場がなく、取引を媒介できる人物がわらしべを持った男だけという条件。

**補充** 「これらの人」(一四〇・7)とは誰か。本文中から十字以内で抜き出せ。思

**答** 物語に登場する人々(9字) (一四〇・2)

**脚問** 「これらの人たちの間に眠る経済学的価値」(一四〇・9)とは、どのようなものか。思

**答** その場では取引できない人たちであっても、機会があれば得ることができるような利益。

**補充** 「これらの人たちの間に眠る経済学的価値」(一四〇・9)とあるが、「眠る」を言い換えたものとして最も適当なものを、次から選べ。思

- ア 自発的にある
- イ 客観的にある
- ウ 潜在的にある
- エ 創造的にある
- ウ

**補充** 「そういう役割」(一四〇・10)とは何か。本文中から二十五字で抜き出せ。思

**答** これらの人たちの間に眠る経済学的価値を引き出すこと(一四〇・9)

**発問** 「そのような役回り」(一四〇・12)とは、どのようなものか。思

**答** 物語に登場する人々の間で取引を媒介できる唯一の人物として大もうけした役回り。

**発問** 「無視できない重要な経済活動」(一四〇・13)とは何と何か。思

**答** 人を喜ばせる創造的なアイデアによって単なるわらしべに価値を生み出したことと、死にそうなる馬を引き取ることによってリスクの大きい事業に

投資したこと。

**発問** 「わらしべにアブを結びつけた」(一四〇・15)のが経済活動と言えるのはなぜか。思

**答** 人を喜ばせる独創的なアイデアでおもちゃを生産したことになるから。

▼一四一頁▲

**補充** 「タダで手に入った」(一四一・1)を言い換えた箇所を、本文中から五字で抜き出せ。思

**答** 原価がゼロ(一四一・2)

**発問** 「原価がゼロ」(一四一・2)ということは、どういうことか。思

**答** タダで手に入ったということ。

**発問** 「人を喜ばせる創造的なアイデア」(一四一・2)とは、具体的にはどのようなことか。思

**答** わらしべにアブを結びつけて、おもちゃを作ったこと。

**補充** 「対価」(一四一・3)とは、この取引では具体的に何のことか。思

**答** ミカン

**脚問** 「引き取る時点では倒れていて、死にそうであったということが見逃せない」(一四一・5)のはなぜか。思

**答** 交換する馬が死にそうであるというリスクを含む取引は、将来の利益を見込んで行う「投資」という経済活動であると考えられるから。

**発問** 「これ」(一四一・7)が指す内容を答えよ。思

**答** 馬が助からない可能性。

**発問** 「これ」(一四一・9)が指す内容を答えよ。思

**答** 死ぬかもしれないというリスクごと馬を買い取

ったこと。

**補充** 「リスク」(一四一・八)を漢字三字で言い換

えよ。知

**答** 危険性

**補充** 「リスクの大きい事業に投資をした」(一四一・

9)とは、この取引では具体的にどうということか。

思

**答** 死ぬかもしれない馬と、自分が持っていた反物  
を取り換えたということ。

**補充** 「リスクをとってなされた投資の成果を享受

することと、労せず富を得ることには大きな差がある」(一四一・10)とあるが、その「差とはどう  
いうことか。それを説明した次の文の空欄に入る適  
当な語句を、本文中から十字以内で抜き出せ。思  
」かどうかということ。

**答** 経済活動をしている(9字)(一四〇・14)

**補充** 「何か特殊な出来事が起こったというわけ

はない」(一四一・13)とは、どうということか。思

**答** 一般的な経済活動の原則を逸脱した出来事では  
ないということ。

**発問** 「これ」(一四一・13)が指す内容を答えよ。

思

**答** ミカンと反物を取引してもうけたこと。

**発問** 「畑で採れた余ったミカンを街中までトラッ

クで運び、道行く人に売ると)本質的には同じ」  
(一四一・14)とあるが、どういう点で同じなの  
か。思

**答** 欲している人の元に物を動かすことが、相互に  
利益をもたらす経済活動であるという点。

▼一四二頁▲

**発問** 「立派な経済活動」(一四二・1)とあるが、

同じ意味の表現をこの形式段落から抜き出せ。思  
経済の中で大切な役割を占めている(一四二・2)

**補充** 「立派な経済活動」(一四二・1)とあるが、

「立派な」にはどのような意味が込められているか。  
それを説明した次の文の空欄に入る適当な語句を、  
本文中から十字以内で抜き出せ。思

経済活動として最低限必要な条件を満たしており、  
」かどうこと。

**答** 何らの不都合はない(9字)(一四一・3)

**発問** 「ある種の嫌悪感」(一四二・8)を具体的に

説明せよ。思

**答** 男だけが突出して幸運なのは、何かあくどい事  
をしたためではないかと否定的にとらえる感情。

**発問** 「特定の個人に話の焦点が当たっている」(一

四二・8)とあるが、ここでは具体的にどういうこ  
とを指すか。思

**答** わらしべを持った男の幸運だけが語られ、ほか  
の人物の取引の結果については詳しく描かれてい  
ないということ。

**補充** 「わらしべ長者」に「ある種の嫌悪感」(一四

二・8)を抱く人にとって、「わらしべ長者」はど  
のような話であると解釈されているか。本文中から  
二十五字で抜き出せ。思

**答** 実直な勤労の美德と価値を否定する、子供には  
有害な話(一三七・11)

**補充** 「わらしべを受け取った子供が、少年時代に体

験したアプのおもちゃ遊びのアイデアをヒント  
にして、大人になって玩具メーカーを立ち上げ、未  
は東証一部上場の大企業にまで成長する」(一四二・  
12)とは、どのようなことか。それを説明  
した次の文の空欄に入る適当な語句を、本文中から  
十字以内で抜き出せ。思

「わらしべ長者」の物語において、  
」かどうこと。

**答** そのほかの人たちが、男との取引の結果どれだけ豊かになったのか(30字) (一四二・9)

**発問** 「わらしべ男の生き方を非難する人は少なからうと思う」(一四二・14)のはなぜか。思

**答** わらしべ男以外の人も豊かになった話加わると、男だけが突出して幸運になった印象が消え、わらしべ男が何かあくどい事をしたと推測されなくなるから。

▼一四三頁▲

**発問** 「わらしべ長者的」(一四三・2)とは、どういうことか。思

**答** 何らかの労力をさいて、自分が作り出したものではないものを手に入れて、少しずつ利益を積み重ねること。

**発問** 「この点」(一四三・5)とは、どのような点か。思

**答** 人によって一度の取引で得られるもうけの程度と質に差がある点。

**発問** 「四回の取引」(一四三・5)について男は何を何と取引したか、順に答えよ。思

**答** 一回目：わらしべをミカンと。  
二回目：ミカンを反物と。  
三回目：反物を馬と。  
四回目：馬を屋敷と。

**補充** 「これをして」(一四三・7)とは、ここでは具体的にどのような意味か。思

**答** わらしべ男が長者になるためにわずか四回の取引しか要さなかったということを経由にして、という意味。

**脚問** 「経済学的な考え方の普遍性」(一四三・12)とは、どういうことか。思

**答** 自発的な交換によって得られる価値の創造といった考え方が、時代や場所に左右されず存在すると

いうこと。

**補充** 「経済学的な考え方の普遍性」(一四三・12)とあるが、「普遍」の対義語を本文中から抜き出せ。

**知** 特殊(一四一・13)

**発問** 「ブータンで語られる話」(一四三・13)について男は何を何と取引したか、省略されている部分は(省略)として順に答えよ。思

**答** 宝石を馬と。馬を牛と。牛を羊と。(省略)。鳥を歌と。

**発問** 「ブータンで語られる話」(一四三・13)が日本

本の「わらしべ長者」の話と最も大きく異なる点は何か。思

**答** 「わらしべ長者」の話が順に市場価値の高い物と取引していくのに対して、ブータンの話は順に市場価値の低い物と取引していく点。

▼一四四頁▲

**補充** 「こういう人物こそ、人生で本当に大きな利益を得られるものではないかと、私は思う」(一四四・7)という筆者の主張を説明した次の文の空欄に入る適当な語句を、後からそれぞれ選べ。思

- 「 1 」から始まった交換によって、最終的に「 2 」を手に入れた男が「幸せな顔をして立ち去った」ことからわかるとおり、  
「 3 」とは必ずしも「 4 」や  
「 5 」を多く手に入れることを意味するのではなく、「 6 」によって「 7 」よりも「 8 」の方が幸福な状態であることが大切なのである。  
ア 自発的な交換  
イ 宝石  
ウ 土地  
エ 交換による経済学的価値の創造  
オ 金銭  
カ 歌

キ 交換前  
ク 交換後

- 【答】 1 イ 2 カ 3 エ 4 オ(ウ) 5 ウ(オ)  
6 ア 7 キ 8 ク

▼思考力問題▲

【補充】

次は、「わらしべ長者」の『経済学』についての会話文である。空欄1・2に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、後から選べ。【思】

生徒A 本文に「取引に参加したすべての人たちは利益を受け取ることができる」とあるけれど、現代社会においてはみな利益を受け取ることができていないよね。

生徒B 例えば、物を売買する場合を考えると、みな利益を得ているようにも思うけど、筆者の言う「取引における利益」とは金銭的な利益のことだけを指すのではないよね。

生徒C 新聞で読んだのだけれど、経済的に困っている人を支援する目的で、物々交換をするプロジェクトがあるそうだよ。プロジェクトの担当者が述べていた、「物々交換によって、人と人とのつながりが生まれたり、それを実感できたりすることにも意味がある」という話が印象的だったな。

生徒D 交換による「1」な豊かさを重視しているという点で筆者の考え方に通じるね。

生徒E 商品の「2」な価値よりも、自分にとってどのような価値があるか、相手にとってどのような価値があるか、を考えることが大切だということだよ。

- ア 1 物質的 2 世俗的  
イ 1 経済的 2 主観的  
ウ 1 精神的 2 客観的  
エ 1 現実的 2 創造的

【答】ウ

▼てびき▲

学習

1 本文をその内容から三つの段落に分けてみよう。

【思】

【答】 第一段落 一三六頁1行目～一四〇頁11行目

第二段落 一四〇頁12行目～一四三頁10行目

第三段落 一四三頁11行目～一四四頁8行目

2 経済学の視点から「わらしべ長者」の話が評価できると筆者が考えるところを三つにまとめてみよう。【思】

【答】 ①自発的交換による経済的価値の創造という

経済の基本原則が表現されている点。

②主人公の男が無視できない重要な経済活動をしている点。

③主人公の男が正当な経済活動を営んだ結果、利益を積み上げて富貴を得た点。

3 「わらしべ長者」の「男」がした具体的な経済活動を三つに整理してみよう。【思】

【答】 ①(わらしべにアブを結びつけて、おもちゃにするという)人を喜ばせる創造的なアイデアで対価を得た点。

②死にそうなる馬を買い取るというリスクの大きい事業に投資した結果、富を得た点。

③欲している人の元に物を動かして利益を得た点。

4 「こういう人物こそ、人生で本当に大きな利益を得られる」と筆者が言うのはなぜか。説明してみよう。【思】

【答例】(例1)商品の客観的価値を推し量ることなどせず、あくまで自分にとって価値があるかどうかを判断基準として取引をしているから。

(例2)物質的充足を至上の価値とするのではなく、精神的充足にも重きを置いているから。

(例3)商品の価値の判断基準が世俗的なものではなく、独自性があるため、他の人々が思ってもみなかった価値を掘り起こして提示することも可能だと考えられるから。

言語活動

1 世界中に「わらしべ長者」に似た昔話があるのは、経済学的な普遍性があるからだという本文を読んで、自分の考えを四百字程度にまとめ、意見交換をしてみよう。【思】

【解答例】

筆者は「わらしべ長者」に自発的交換による

価値創造の原則を見出し、そのような読み方こそが「わらしべ長者」の本質的な理解につながると考える。私は、この考え方に基本的に賛成である。わらしべを持った男が長者にならないければ、そもそもこの昔話は成立しなかっただろうし、男と物々交換する人々にも何らかの利益があったからこそ、「わらしべ長者」が昔話として民衆に享受されてきたと思うからだ。ただ、「わらしべ長者」の成功の発端に観音さまのお告げがあったことも見逃せない。男はこのお告げを信じたからこそ長者になったのである。ここから「観音さまのお告げを守れば、やがていいことがある」といった仏教的な教訓も導かれるだろう。むしろ、そのような読み方こそが「わらしべ長者」本来の読み方だったのではないだろうか。そうだとすれば、「わらしべ長者」を「勞せずして大もうけ」の意味に解釈する世間一般の見解も、「わらしべ長者」の経済的側面のみをとりあげて評価する筆者の見解も、きわめて今日的なものであると見ることもできるだろう。(四四五字)

## ことばと表現

1 次の傍線部を漢字に直してみよう。 **知**

- (1) 恩師から教えを**サズ**かる。 **答** 授  
(2) 神社で合格**キガン**をした。 **答** 祈願  
(3) 努力してユウフク**ニ**なった。 **答** 裕福  
(4) 冷たい水でのどをウル**オ**す。 **答** 潤  
(5) 高価な品を**テバ**す。 **答** 手放  
(6) **ダイキギ**ヨウの工場が建つ。 **答** 大企業

2 次の(1)～(3)を用いて、短文を作ってみよう。 **知**

- (1) 一堂に会する  
(2) 右から左  
(3) 一国一城の主

**答例** (1) オリンピックは、四年に一度、世界中のアス

リートたちが一堂に会する機会である。

(2) 急な出費が重なり、給料は右から左に流れていった。

(3) 彼は、将来、一国一城の主として、小さくてもいから自分の店を構えたいと思っている。